

令和2年度第1回酒田市女性活躍推進懇話会提案等概要

【日本一女性が働きやすいまちに向けて】

- ・コロナ禍に対応するためには、地域包括的に施策を検討する必要がある。行政、企業、家庭・地域の役割分担を明確にし、優先順位を決める必要がある。
- ・ポスター等で取り組みを継続して発信していく必要がある。
- ・事業主に、高学歴女性の働く場の提供に取り組むように働きかけてほしい。

【事業主向け】

- ・コロナ禍により経営破綻した経営者の再起支援策を考える必要がある。
- ・小規模事業者への経営支援が必要である。
- ・テレワーク導入補助金に関しては、テレワークに馴染みのない事業主向けに導入事例の紹介などの支援が必要である。

【家庭向け】

- ・新たな生活様式の中で、固定的役割分担の見直しなど家庭での男女共同参画を積極的に進める必要がある。

【新たな働き方について】

- ・リモートワークの進展をチャンスと捉え、Uターン等につながるように本市での暮らしぶりなどの魅力発信に力を入れるべきである。
- ・ワーケーション等を促進するための環境整備を図り、速やかに具体的なメッセージを発信することが大事である。
- ・オフィスの縮小など首都圏の企業活動のあり方が変化しているので、上手にこの地域全体へ波及するような施策を検討すべきである。
- ・女性もリカレント教育を受講するなど、自身のキャリアアップに努めることが大切である。

【女性活躍推進事業について】

- ・意識啓発冊子は、効果的な内容や配布先、活用の仕方等を検討すべきである。
- ・女性応援ポータルサイトの拡充、さらなる周知を図る必要がある。

■その他意見等

- ・各種支援制度対象者への的確な周知を図ることが大事である。
- ・休校時などに子どもへの学習をサポートする策を考えてほしい。
- ・各種相談窓口の周知のため、人の目に触れる場所へのシールの貼付などを検討してはどうか。
- ・県外者や県外に行った人への差別意識の払しょくが大切である。